



■ □ 特集 『お正月の植物』

2013 年もあと 10 日ほどで終わりますね。と言ってもまだ今の時期は大掃除や年末の仕事納めに向けてとお忙しい時期でしょうか？

しかし、そんなドタバタの時期を乗り越えればいよいよ新年が明けましてお正月がやってきます。

お正月では、飾り物や食べ物など色々な「しきたり」がありますよね。その中には植物がたくさん出てきます。それらの植物が飾られる理由を調べてみると、それぞれの植物が持つ不思議な特徴が見えてきます。今回はそんな植物の特徴を紹介していきます。

1. 鏡餅

お正月の飾りと言えば、鏡餅。

鏡餅には、お餅以外の食品や植物が飾りに使われています。地域や文化の違いによって違いもありますが、主なものを挙げると以下のようなものがあります。



- **橙**…小さい子どもに「鏡餅の上に飾るものは？」と聞くと「ミカン」と答える子が多いと思いますが、実は鏡餅の上に乗っているのはミカン科の中でも「橙（ダイダイ）」が正しいようです。橙が使われる理由はその性質にあります。橙は果実が成熟しても落ちること無く、複世代の果実を同じ樹で見られます。その為、世代が続く「代々（だいだい）」から名前がつき、子孫繁栄を祈念して飾られます。

ちなみに食品として橙は酸味が強いので生食には向かず、主に加工してマーマレードジャムや薬などに用いられます。

- **ウラジロ**

鏡餅の下に飾られる大型のシダです。

ウラジロ科で、生息地は福島県－新潟県以南の暖地に分布し、山地の斜面に群生、陽地を好みます。一枚の葉は 1～数対の羽片からなります。名前にもあるように葉裏は粉白色をしています。



ウラジロの写真

正月飾りに使われる理由は、「葉が対になって生長することから夫婦円満を祈念して」や「葉裏が白いため白髪になぞらえて長寿を祈念して」などの説があります。

- **ユズリハ**…ユズリハは葉っぱを鏡餅とウラジロに挟まれる形で飾られることの多い樹木です。

トウダイグサ科の植物で、葉は長さが 15～20cm 幅は 4～7cm で厚みがあり、葉の上面は深緑色、下面は粉白色です。

暖帯の高木で、佐渡島～宮城県以南に分布します。

正月飾りに使われる理由は、新しい葉がなってから古い葉が落ちるので、「世代交代が上手く進むように祈念して」だそうです。



サヒメル近くにあるユズリハ。左が上面、右が下面

紹介した以外にも、かち栗（茹でた栗の実）や串柿（干した柿を竹串で刺して連ねたもの）など秋にとれる果実を使った飾り付けもあります。また植物ではありませんが海老や昆布なども供えられることもあります。

2. 門松（松竹梅）

こちらもお正月飾りの代表的なものです。年賀状などのスタンプなどに使われる竹が3本くらいに束ねてある門松を島根で見るとは少ないですね。実は門松も地域によって大きく形が違います。よく使われているのは、松、竹、梅です。『松竹梅』と言えば、慶事・吉祥の象徴として色々な所に使われていますが、植物としてどうなっているか見てみると、



- 松は、裸子植物門 マツ綱 マツ目 マツ科 マツ属の総称。
- 竹は、被子植物門 单子葉植物綱 イネ目 イネ科 タケ亜科の茎が木質化する物の総称。
- 梅は、被子植物門 双子葉植物綱 バラ目 バラ科 サクラ属 ウメ

サヒメルの周辺には、昭和46年に植樹された松が多く存在します。

となっています。竹がイネ科だということもおどろきですが、下線部に注目すると中学校理科第1学年「植物の体のつくりと働き」で習う植物の特徴をしっかりと網羅していることが分かります！

『松竹梅』が慶事・吉祥の象徴だけでなく理科の授業にも一役買ってくれそうですね。

3. 七草粥

1月7日に食べる七草粥。入っている野菜はどんな植物なのでしょう？

1. セリ

セリ科で、日本全土の水田の近くなどの湿地で見ることの出来る多年草です。6～8月が花期になります。

独特の香りがあり、香りの精油成分には発汗・保温効果があり、冷え性や風邪に効果があるとされ重宝されてきました。現在では野菜として栽培もされているのでスーパーなどでも見ることがあります。

2. ナズナ (ペンペン草)

アブラナ科で、畑や道ばたなど、どこにでも生える2年草です。日本全土で見られます。3~5月が花期になります。

七草粥では若苗が使われていて、昔は貴重な冬の野菜の一つだったようです。現在スーパーなどで売られている七草粥セットには種が入っていることが多いようです。

3. ゴギョウ (ハハコグサ)

キク科で、庭、畑、道ばたなど日本全土の至る所で見ることが出来る2年草です。花期は4~6月です。

七草粥の他にも草餅にも使われます。

4. ハコベ

ナデシコ科ハコベ属には「ミドリハコベ」「コハコベ」「ウシハコベ」「ミヤマハコベ」などの種がありますが、単に「ハコベ」というと「ミドリハコベ」か「コハコベ」を指すことが多いようです。

ミドリハコベは日本全土の道ばたや畑で見られます。花期は2~10月です。多年草です。

コハコベはミドリハコベとそっくりですが、葉が小さく、葉の色がミドリハコベに比べ濃緑色になっています。また、コハコベは大正時代に欧州から入ってきて帰化したらしく、ミドリハコベと交配して区別しにくくなっているようです。

5. ホトケノザ (コオニタビラコ)

キク科で、コオニタビラコが種名です。

春耕前の水田などの湿地にはえる2年草です。本州、四国、九州に分布します。花期は3~4月です。

6. スズナ (カブ)

スズナは、「カブ」の別名です。カブはアブラナ科アブラナ属の植物です。カブは世界中で野菜として栽培されてきましたが、分類上はアジア系と欧州系の2変種に分かれています。

根にはデンプン消化酵素が多く含まれ、食物繊維が豊富です。葉にもビタミンC、カロテン、鉄分など多くの栄養素を含み、病気にかかりにくくなります。

7. スズシロ（大根）

スズシロは大根の別名です。大根はアブラナ科ダイコン属の植物です。越冬草でこちらも野菜として多く栽培されています。

根っこは、デンプンやタンパク質消化酵素を含み、食物繊維も豊富に含みます。

また葉にもビタミンC、カロテン、鉄分など多くの栄養素を含みます。

以上が七草粥に入っている野菜です。多年草でどこにでもはえる草が多いですね。昔は現在とは違い、いつでも野菜が手に入る訳ではありません。そんな中で厳しい冬を乗り越えるために得た生活の知恵です。調べてみて先人の方のたくましさを感じました。

また、花期が春になっている植物がほとんどですので、春の自然観察に七草粥の食材をみつけるというのはいかがでしょうか？

またこれらの植物が、サヒメル周辺で見られるようになりましたら写真を撮ってサヒメル理科ネットの「今日の一枚」などで紹介していただきたいと思います。

参考文献

『検索入門 樹木①』 尼川大録・長田武正 著 発行者：今井悠紀
発行所：保育社

『検索入門 しだの図鑑』 光田重幸 著 発行者：今井悠紀
発行所：保育社

『検索入門 冬の樹木』 村田源 監修 平野弘二 著
発行者：今井悠紀 発行所：保育社

『検索入門 野草図鑑④』 長田武正 著 長田喜美子 写真
発行者：今井悠紀 発行所：保育社

『検索入門 野草図鑑⑥』 長田武正 著 長田喜美子 写真
発行者：今井悠紀 発行所：保育社

『検索入門 野草図鑑⑦』 長田武正 著 長田喜美子 写真
発行者：今井悠紀 発行所：保育社

『検索入門 野草図鑑⑧』 長田武正 著 長田喜美子 写真
発行者：今井悠紀 発行所：保育社

文部科学省食品データベース <http://fooddb.mext.go.jp/>

(サヒメル理科ネット事務局 工藤 修也)



■ お知らせ

・メーリングリスト (ML) について

下記のメールアドレスにメールを送信していただくと、会員の皆様、サヒメルの研究員にメールが届くようになっています。

子ども達に好評だった教材の紹介など、情報共有にぜひご利用ください！

rikanet@nature-sanbe.jp

・理科ネットサポートスタッフ自己紹介配信中！！

現在、サヒメル理科ネットをサポートしてくださっている先生に自己紹介をしていただいております。文面からも伝わってきますが、とても理科に関して熱心な方々です。

万全のサポート体制の理科相談や **ML** を是非ご利用ください！！

・会員専用ページ

会員専用理科相談室（理科授業に関する疑問や教材の質問ができます）

会員専用教材貸し出し受付（教材の貸し出し申込ができます）

<http://rikanet.nature-sanbe.jp/members/>

・島根県立三瓶自然館サヒメルホームページ

<http://nature-sanbe.jp/sahimel/index.htm>



※メルマガの配信停止を希望される方は下記連絡先までお問い合わせください。

三瓶自然館 サヒメル理科ネット事務局 工藤

TEL : 0854-86-0500 FAX : 0854-86-0501

E-mail : rikaoffice@nature-sanbe.jp

この事業は JST ネットワーク形成先進的 科学館連携型の支援を受けています